

【特別決議】

JAグループの自己改革に関する特別決議（案）

JA花園自己改革取組宣言

組合員・地域に必要とされる組織であり続けるため
JA花園は総合事業を展開してまいります

私たちは、3つの目指す姿に向かって、農畜産物の販売、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業と相談活動による総合事業体で、自己改革に取り組みます。

＜3つの目指す姿＞

1. 農業者所得の増大、農業生産の拡大を通じ、持続可能な農業を実現します
2. 地域を活性化し、豊かで暮らしやすい地域社会を実現します
3. 次世代とともに、食と農を基軸に、協同組合としての役割を発揮します

自己改革をやり遂げるために実践します。

- ① 組合員との対話運動
- ② 自己改革工程表による進捗管理
- ③ 営農とくらしを守る総合事業の持続的展開

以上、宣言する。

以上、決議する。

花園農業協同組合 第50回通常総会

令和元年6月15日

具体的な取組みは、本冊の次期中期経営計画等の頁をご覧ください。

主な取組みを次の3点により紹介します。

1. 担い手経営体への総合事業提案

訪問活動を通じて、担い手経営体のニーズを把握し、総合事業を通じて6次産業化や販路の開拓、設備投資による規模拡大などの挑戦をサポートします。

2. 農産物直売所を通じた農業振興と地域の活性化

多様な担い手による多品目の生産や収量拡大に向けた研修会や新規作物導入支援、直売所が組合員、地域住民の集まる施設として地域の活性化につなげるため、生産者と消費者が交流するイベントを開催します。

3. 経営資源のシフト等による経済事業改革

営農指導をはじめ、経済事業（販売、利用、加工事業を含む）を強化事業と位置づけ、経営資源を集約し、組合員の所得増大に向けた取組みを進めます。